

第 40 期第 4 回理事会議事録

日時：2018 年 9 月 7 日（金） 13 時 30 分～17 時 30 分

会場： ちよだプラットフォームスクウェア（東京都千代田区）会議室 501・502

出席理事： 岩崎俊樹，瀬上哲秀，青柳曉典，氏家将志，榎本 剛，小池 真，佐藤 薫，新保明彦，仲江川敏之，中村 尚，早坂忠裕，平松信昭，以上 12 名

Web 会議システムを通じた出席理事：佐藤正樹，竹見哲也，坪木和久，余田成男，以上 4 名
（理事数現在 20 名）

出席監事： 高谷康太郎，以上 1 名

その他の出席者： 勝山 税，志村 隆，横手嘉二（事務局）

議題

1. 協議事項

1) 会員の新規加入等について

新入会 20，退会 71 を全会一致で承認した。2018 年 9 月 4 日現在，会員数 3,537 名で個人会員は 3,303。

2) 第 40 期第 3 回理事会議事録の確認

議事録案を全会一致で承認した。

2. 報告事項

1) 業務執行理事の報告

庶務・・・以下の報告があった。

i) 転載許可

なし

ii) 後援名義等使用依頼受付

① 名称：平成 30 年 7 月豪雨に関する緊急対応研究会のご案内

主催：理化学研究所 計算科学研究センター

期日：2018 年 8 月 17 日

場所：理化学研究所 計算科学研究センター 6 階講堂

名義：後援

② 名称：「JASIS2018」（旧名称 分析展／科学機器展）

主催：一般社団法人日本分析機器工業会，一般社団法人日本科学機器協会

期日：2018 年 9 月 5 日～7 日

場所：幕張メッセ国際展示場

名義：後援

③ 名称：原子力総合シンポジウム 2018

主催：日本学術会議 総合工学委員会

期日：2018 年 10 月 22 日

場所：日本学術会議講堂

名義：共催

④名称：日本太陽エネルギー学会太陽光発電部会 第 25 回セミナー

「太陽光発電システムの大量導入とエネルギーマネジメントの課題」

主催：日本太陽エネルギー学会

期日：2018 年 11 月 12 日（月）

場所：機械振興会館 B3 研修-2 会議室

名義：協賛

⑤名称：No.18-135 講習会 混相流入門：実験・数値計算の基礎から実例まで

主催：日本機械学会 流体工学部門

期日：2018 年 12 月 25 日（火）

場所：日本機械学会 第 1・2 会議室

名義：協賛

会計・・・以下の報告があった。

- ・2018 年 7 月分の収支及び現預金検査報告。
- ・東北支部からの 2018 年度秋季大会の交付金増額申請。

企画調整・・・以下の報告があった。

- ・研究業績の表彰事業の見直し案の検討について、状況の報告。

気象災害・・・以下の報告があった。

- ・2018 年秋季大会前日の 10 月 28 日に、平成 30 年 7 月豪雨に関する研究会を、メソ気象研究会と共催で開催する。講演は 7 件。メソ気象研究会のホームページにも案内を掲載済み。

2)委員会報告

講演企画・・・以下の報告があった。

- ・大会参加費と予稿集改善案について、講演企画委員会案を理事会に提示した。(1)大会講演時の活性化を目的に電子版予稿集を参加者全員に配布すること、(2)現在の「講演者参加費または聴講者参加費+予稿集代」を「大会参加費+講演投稿料」の形で整理し直すという方向性については、理事会にて全会一致で承認された。今後、委員会案の記述を整理した上で、理事会案として 10 月に気象学会ホームページ上で提示し、会員に対し意見募集を行う。
- ・2018 年春季大会アンケート結果の報告。
- ・2018 年秋季大会の準備状況の報告。撮影・録音に関する規定が 2018 年秋季大会から運用される。講演時に撮影・録音が行なわれる場合、その旨を聴衆に伝えるよう、各セ

ッションの座長に依頼した。

天気編集・・・以下の報告があった。

- ・ Vol.65No.8 (2018年8月号)の掲載記事と、Vol.65No.9,10 (2018年9月,10月号)の予定記事の報告。
- ・ 日本海洋学会機関紙「海洋学会ニュースレター」へ気象学会紹介記事を投稿した。
- ・ 日本海洋学会の紹介記事は「天気」10月号に掲載予定。日本海洋学会は他学会にも紹介記事の相互掲載を呼びかけており、「天気」に投稿した原稿をほぼそのまま使用したいので著作権譲渡ができないとのこと。今後、その記事を含んだCDROM販売やWeb掲載等の際に困らないよう、従来の著作権譲渡承諾書ではなく、複製、頒布、第三者への使用許諾、等を認める文書を提出してもらう予定。

気象集誌編集・・・以下の報告があった。

- ・ 論文査読状況。
- ・ 掲載料免除申請1件。
- ・ Vol.96 No.5 (2018年10月号)の目次予定。
- ・ 2017年、2018年の豪雨に関する、気象集誌・SOLA合同特別号が提案された。2019年の刊行を目指して、編集体制を組んだ。
- ・ 合同特別号刊行にあたり、科研費を利用したArticle Processing Charge (APC)の低減を行うことについて、理事会にて全会一致で承認された。
- ・ 科研費の2018年度所要経費、2019年度経費予定の報告。

SOLA 編集・・・以下の報告があった。

- ・ 論文査読状況。
- ・ J-Stage 上での、受理論文の早期公開を開始した。

松野賞候補者推薦・・・以下の報告があった。

- ・ 松野賞のあり方についての一会員のご意見に対する回答を天気に投稿予定。松野賞候補者推薦委員会名で学会だよりでの掲載を想定している。

学術・・・以下の報告があった。

- ・ 「今後の宇宙開発体制のあり方に関するタスクフォース会合リモートセンシング分科会」による、「衛星地球観測ミッション公募(第一回試行)」のお知らせを気象学会ホームページに掲載した。また、気象学会から提案書のレビューを推薦することが依頼されている。塩谷理事、早坂理事、高籾 縁会員(東京大学教授)を推薦することとする。
- ・ 日本学術会議の大型研究に関するマスタープラン(マスタープラン2020)の締め切りが近づいている。気象学会として、日本航空宇宙学会との連携を深める方向で進める。具体的には、両学会の計画に相互に乗り入れるような形での連携を進める。気象学会側のコンタクトポイントとして、小池理事を選出した。今後、学術委員は適宜、理事会に意見を求めることとする。

教育と普及・・・以下の報告があった。

- ・2018年8月10日に開催された、女子中高生夏の学校へのポスター出展（人材育成・男女共同参画委員会と合同）報告。「温暖化研究の最前線」という題名で温暖化に関する一般的な話と気候モデルの話題を提供した。

電子情報・・・以下の報告があった。

- ・2018年7月20日に委員会をオンラインで開催した。役割分担を確認の上、サーバ障害報告や常時SSL化の議論を行なった。SSL化への対応について、各支部、委員会に照会中。
- ・気象学会ホームページ上の会員向けコンテンツや投票機能について、準備中。

人材育成・男女共同参画・・・以下の報告があった。

- ・2018年9月3日に委員会をメーリングリスト上で開催し、役割分担を確認した。
- ・2018年秋季大会にて、ワークライフバランスに関する勉強会を開催予定。

3)理事長報告

- ・2018年10月5日に日本地球惑星科学連合の第19回学協会会議が開催される。日本地球惑星科学連合の活動報告や、マスタープラン2020などについて議論される。瀬上副理事長が岩崎理事長の代理で出席予定。

平成30年11月19日

公益社団法人日本気象学会

理事長 岩崎俊樹

監事 鈴木 靖

監事 高谷康太郎